

○計画期間:令和4年4月～令和9年3月(5年間)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和4年度を始期とする「第3期静岡市中心市街地活性化基本計画」に基づき、静岡地区・清水地区の2地区に分けた計画の推進を進めている。清水地区では、新規事業者数、観光客数、中心市街地人口の3つの目標指標に加え、歩行者通行量を共通目標として掲げ、「いつでも活気に満ちあふれ、住む人、訪れる人をワクワクさせる中心市街地の実現」を目指している。

認定計画の策定後、地域経済に多大な影響を与えた新型コロナウイルス感染症が収束し、「清水七夕まつり」等の大型イベントの開催や、賑わいと居心地の良さが共存する”人”が主役のまちづくりのひとつである「まちは劇場」の取組、清水港日の出ふ頭での外国客船の受入再開により、中心市街地の通行量や国内外からの観光客数が回復しつつある。

令和5年11月には日の出地区で「パークサイド整備事業」が竣工、令和6年3月にはJR清水駅東口の「JCHO 清水さくら病院整備事業」が完了し、そこに至るペデストリアンデッキの一部の利用が開始されるなど、商業機能や都市福利機能、歩行空間などのまちの拡充が進められてきた。

また、ソフト面では、「清水港客船誘致事業」により客船寄港数が過去最多となったことを契機に、令和7年度から「インバウンド需要を取り込むための店舗の受入環境整備事業」を開始し、商店街等の店舗が外国人観光客を受け入れる体制を整え、観光客数増加に寄与している。

こうした取り組みにより、観光客数は目標値に近い数値に増加しており、新規事業者数及び歩行者通行量は目標達成となった。一方、中心市街地人口については、想定以上の減少が続いており、原因の把握に努めるとともに、計画に登載されている一連の取組によりまちの魅力を高めていく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住地人口

(基準日：毎年度9月30日)

(中心市街地 区域)	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
人口	5,691 人	5,608 人	5,449 人	5,407 人	5,321 人	-
人口増減数	-	▲55 人	▲159 人	▲42 人	▲86 人	-
自然増減数	-	-	-	-	-	-
社会増減数	静岡市は算出不可					-
転入者数	-	-	-	-	-	-

(2) 地価

(単位：千円/㎡)

	令和3年度	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
中心市街地 商業地域平均	138	136	134	134	134	—
清水区真砂町49	149	145	142	139	137	—
清水区相生町5	126	126	126	128	130	—
清水区日の出町 101(工業)	81	81	81	82	82	—

2. 令和7年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

クルーズ船に係る事業の進捗が順調で観光客数の増加に結びついている。令和8年度はクルーズ船寄港数が過去最多を予定しており需要はあることから、この需要を取り逃さないようきめ細やかな事業の推進を求める。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	推計値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	目標達成に関する見通し	
							前回の見通し	今回の見通し
魅力的な人とお店が出会い新たな価値を創造するまちづくりによる商業機能の向上 (訪れたい港町)	新規事業者数 (累計)	14 件	28 件 ※累計	38 件 ※累計	47 件 ※累計	A	A	A
人々が訪れてみたいと憧れを抱く個性あるまちづくりによるにぎわいの創出 (にぎわいのある港町)	観光客数	290 万人	652 万人	685 万人	640 万人	B	A	A
居心地が良く暮らし続けられるまちづくりの推進 (住み続けたい港町)	中心市街地人口	5,808 人	5,446 人	5,496 人	5,321 人	C	C	C
共通目標	歩行者通行量	933 人	1,163 人	1,312 人	1,506 人	A	A	A

< 基準値からの改善状況 >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

※ : 上記について、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引く。

< 目標達成に関する見通し >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
a	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
B	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
b	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
C	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）
c	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

2. 目標達成見通しの理由

新規事業者数については、空き店舗対策事業が順調に実施されており、基準値である14件に対し、47件（令和2年度～令和7年度の累計）に増加した。そのため、改善状況をA:目標達成、今回の見通しをA:目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）とした。目標達成したものの引き続き空き店舗対策事業は行っていく。

観光客数については、最新値は641万人という数値となり、基準値の290万人から大きく増加した。フェルケール博物館及び清水文化会館マリナートにおいて過去最多の観光客数を記録したほか、清水巴川灯ろうまつりが再開したことが要因として挙げられる。また、清水港へクルーズ船が多く寄港したことも観光客数の増加に寄与した。今後もクルーズ船の寄港数は増加する見込みのため、改善状況をB:基準値より改善、今回の見通しをA:目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）とした。

中心市街地人口については、5年間の計画上で増加は想定しておらず、減少幅を少なくしていくことを目標として数値を設定している。その中で、令和7年度は基準値である5,808人に対して、5,321人という結果となった。減少幅が想定よりも大きく、目標値5,496人をも下回ってしまったため、改善状況をC:基準値に及ばない、今回の見通しをC:目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）とした。一方で、「移住・就職事業」、「移住支援センター運営事業」の進捗はそれぞれ計画当初の平均値を大きく上回っており順調に推移している。今後は減少の原因を分析し人口増加に寄与するような取組を検討する必要がある。

歩行者通行量については、基準値である令和2年度の933人に対して、令和7年度の歩行者通行量は1,506人という結果となり目標達成となった。そのため、改善状況をA:目標達成とし、新規出店による歩行者数の増加やクルーズ客船寄港数増加により歩行者数の増加が見込めるため今回の見通しをA:目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）とした。目標達成したものの引き続き関連事業の実施により、増加を目指す。

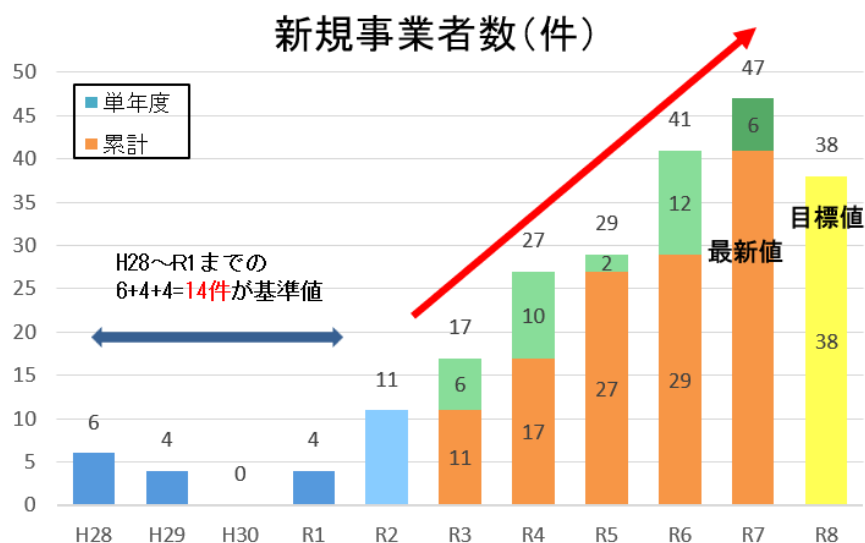
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

なし。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「新規事業者数（累計）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 70 参照

●調査結果と分析



※調査方法：中心市街地内の主要な通り（3箇所）の店舗数を目視にて確認

※調査月：毎年1月

※調査主体：静岡市

※調査対象：清水駅前銀座商店街・清水中央銀座商店街・清水銀座商店街で各通りに面する建物で営業・運営している店舗・事業所

〈分析内容〉

令和7年度の新規出店者数の最新値は47件（令和2年度～令和7年度累計）という結果となった。単年度で見ると、清水駅前銀座商店街で5件、清水銀座商店会で1件の計6件となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗対策事業（静岡市中心市街地活性化協議会、静岡市）

事業実施期間	令和4年度～令和5年度【済】
事業概要	商店街等の空き店舗を活用したチャレンジショップの検討・実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和4年4月～令和6年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	商店街の空き店舗を活用する事業者を支援する空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年2件の新規事業者による出店を目指している。 令和5年度に本事業で実施した中活区域内への出店支援件数は1件だった。小売業が出店している。
事業の今後について	令和5年度で事業終了。

年	(件)
H28 ～R1	14 (基準値)
R2	11 (計画前)
R3 ※累計	17 (計画前)
R4 ※累計	27 (1年目)
R5 ※累計	29 (2年目)
R6 ※累計	41 (3年目)
R7 ※累計	47 (最新値)
R8 ※累計	38 (目標値)

②. チャレンジショップ出店支援事業（静岡市）

事業実施期間	令和４年度～令和６年度【済】
事業概要	大型商業施設等でのチャレンジショップの実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和４年４月～令和７年３月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	チャレンジショップ出店支援事業等を含む空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年２件の新規事業者による出店を目指している。 令和６年度に本事業で実施した中活区域内への出店支援件数は４件だった。小売業や飲食業が出店している。
事業の今後について	令和６年度で事業終了。

③. 商店街の持続的発展に向けた課題解決事業（静岡市）【令和４年度追加】

事業実施期間	令和５年度～令和６年度【済】
事業概要	空き店舗活用に向けた基礎調査（不動産オーナーへのアンケート調査や空き家・空き店舗物件調査、データベース化等）、空き店舗対策事業の実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和５年４月～令和７年３月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業等の空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年２件の新規事業者による出店を目指している。 令和６年度のこの事業による新規出店は無かった。
事業の今後について	令和６年度で事業終了。

④. 子ども関連施設出店事業（民間事業者）【令和５年度追加】

事業実施期間	令和６年度～【実施中】
事業概要	商店街の空き店舗を対象に子ども関連施設を整備する取組に対して費用の一部を助成
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府） （令和６年度） 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）（内閣府） （令和７年度） 地域未来交付金（地域未来推進型）（内閣府） （令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業等の空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年２件の新規事業者による出店を目指している。

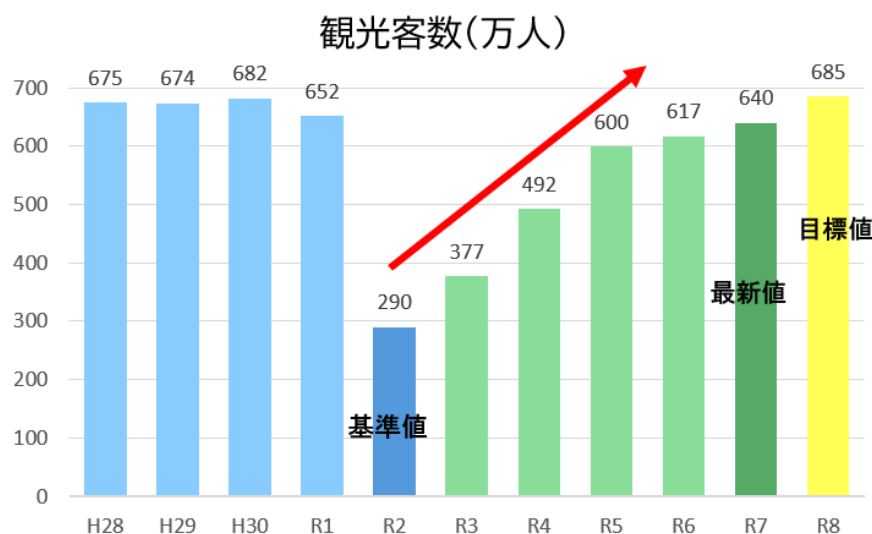
	令和7年度のこの事業による新規出店は無かった。
事業の今後について	次年度以降も子ども関連施設を整備する取組に対して助成することにより、中心市街地の賑わいの創出につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和7年度の新規事業者数は6件となり、累計47件となった。目標達成となったが、今後も空き店舗関連事業を実施する。

(2)「観光客数」※目標設定の考え方認定基本計画 P.71 参照

●調査結果と分析



年	(万人)
R2	290 (基準値)
R3	377 (計画前)
R4	492 (1年目)
R5	600 (2年目)
R6	617 (3年目)
R7	640 (最新値)
R8	685 (目標値)

※調査方法：各施設・イベント事業者へ文書照会を実施し、回答を集計

※調査月：毎年5～6月頃

※調査主体：静岡市

※調査対象：「観光交流客数調査」及び独自調査を基に、清水地区内の9施設及び8事業の利用者・参加者の合計により算出

〈分析内容〉

令和7年度の観光客数は基準値の290万人に対して640万人となったため、B:基準値より改善とした。令和元年（コロナ前）は652万人であり、コロナ前と比較しても元の水準に戻ってきている状況である。また、各施設・各イベントの来場者数も概ね順調に増加している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 清水ウォーターフロント回遊性向上事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年～令和 5 年度【済】
事業概要	清水都心ウォーターフロントにおける人・自転車の動線検討、既存バス路線網検討、LRT 導入検討
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業は、平成 27 年度からこれまでに LRT の導入検討や、交通環境の改善調査等を行った。
事業の今後について	令和 5 年度で事業終了。

②. 清水港客船誘致事業（清水港客船誘致委員会）

事業実施期間	平成 2 年～【実施中】
事業概要	清水港への客船・帆船の誘致活動、寄港時の歓迎事業、調査研究事業、広報活動等
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度は 95 隻の外国客船が寄港した。一部客船に対してはシャトルバスの運営も行い、周辺の周遊促進に寄与した。①～⑧の事業と連携した総体効果として、令和 7 年度の最新値は 640 万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和 8 年度は年間 100 隻を超える客船が寄港するため、昨年よりもより一層観光客数の増加に寄与すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和 8 年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

③. 静岡市清水文化会館マリナート運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成 24 年～【実施中】
事業概要	静岡市清水文化会館マリナートの運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新	展示会やコンサート等を目的として来場していただき、清

値及び進捗状況	水地区を代表する文化施設として定着してきている。今後も多くの観光客に来場していただき、清水地区の来街者・観光客数の増加を見込む。 令和7年度は年間約54万人の来館があった。 ①～⑧の事業と連携した総体効果として、令和7年度の最新値は640万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和8年度は年間約100隻の客船が寄港するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

④. 清水魚市場「河岸の市」運営事業（清水魚株式会社）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	第1期計画で整備完了した「まぐろ館」を含む清水魚市場「河岸の市」の運営を行い、地域の観光機能を活かした活性化を牽引していく。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	近年は休日を中心に多くの来場があり清水地区を代表する観光施設として定着してきている。今後も多くの観光客に来場していただき清水地区の来街者・観光客数の増加を見込む。令和7年度は年間約85万人の来館があった。 ①～⑧の事業と連携した総体効果として、令和7年度の最新値は640万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和8年度は年間約100隻の客船が寄港するため、近年観光地として定着が見られる当施設は来館者のさらなる増加が見込まれる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑤. 次郎長生家運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成25年～【実施中】
事業概要	清水次郎長（1820～1893年）が産湯で使った井戸等が当時のまま保存され、写真や資料なども展示されている生家の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	清水区の地域資源である清水次郎長を活かした次郎長生家は清水地区を代表する観光施設として認識されており、現在も

	継続して運営されている。令和 7 年度は年間約 1.2 万人の来館があった。 ①～⑧の事業と連携した総体効果として、令和 7 年度の最新値は 640 万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和 8 年度は年間約 100 隻近くの客船が寄港するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。清水次郎長は国内外を問わず来街者の興味を惹くコンテンツであるため、より一層の来街者が期待される。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和 8 年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
⑥. 富士山コスプレ世界大会開催事業（富士山コスプレ世界大会実行委員会）	
事業実施期間	平成 25 年～【実施中】
事業概要	富士山コスプレ世界大会の開催（商店街を舞台としたコスプレイヤーの写真撮影会、コスプレ体験、コスプレランウェイ、痛車展示等）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業は、コスプレというコンテンツの活用により来街者の増加を見込んでいる。令和 7 年は 11 月 15 日、16 日に開催し、約 3 万 2 千人が来場した。①～⑧の事業と連携した総体効果として、令和 7 年度の最新値は 640 万人/年という結果となった。開催場所である清水駅前銀座商店街は、コスプレの聖地と認識されており、開催期間外でもコスプレをした来街者が増えていることや商店街店舗への売上にも貢献している。
事業の今後について	令和 8 年度は年間約 100 隻の客船が寄港するため、国外から清水区への来街者が増加する。コスプレというコンテンツは国内外のどちらにも支持されるものであるため、さらなる観光客の増加が見込まれると考える。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和 8 年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
⑦. 清水みなと祭り開催事業（清水みなと祭り実行委員会）	
事業実施期間	昭和 22 年～【実施中】
事業概要	清水みなと祭りの開催（港かっぽれ総おどり、海上花火大会等）

国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和４年４月～令和９年３月）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	清水区を代表する祭りとして古くから親しまれている清水みなと祭りは、イベント開催時に市内外からの来街者を見込んでいる。 令和７年度は８月１日、２日、３日に開催し、４５万人の来場があった。①～⑧の事業と連携した総体効果として、令和７年度の最新値は６４０万人/年という結果となった。 中心市街地内各地で行事が行われるため、来場者が中心市街地区域内を回遊することができている。
事業の今後について	令和８年度は年間約１００隻の客船が寄港するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和８年度の目標値６８５万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑧. 清水七夕まつり開催事業（清水七夕まつり実行委員会）

事業実施期間	昭和２８年～【実施中】
事業概要	清水七夕まつりの開催（七夕竹飾りの展示、竹飾りコンテストの開催等）
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和４年４月～令和９年３月）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	清水区を代表する祭りとして古くから親しまれる清水七夕まつりは、イベント開催時に市内外からの来街者を見込んでいる。 令和７年度は７月３日、４日、５日、６日の４日間開催し、約２５万人が来場した。①～⑧の事業と連携した総体効果として、令和７年度の最新値は６４０万人/年という結果となった。 商店街振興を目的として始まったまつりであり、来場者の増加により、商店街の売上増や商店街内店舗の認知度向上に貢献している。
事業の今後について	令和８年度は年間約１００隻の客船が寄港するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和８年度の目標値６８５万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑨. 大道芸ワールドカップ in 静岡開催事業（大道芸ワールドカップ実行委員会）

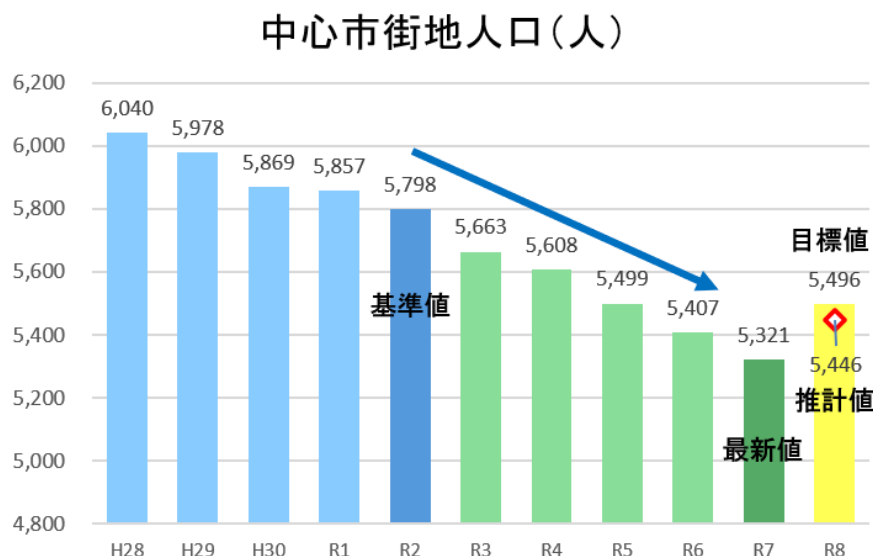
事業実施期間	平成４年～【実施中】
事業概要	大道芸ワールドカップ in 静岡の開催（清水港ウォーターフ

	ロント等まちなかでの大道芸披露等)
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和４年４月～令和９年３月）
事業目標値・最新 値及び進捗状況	まちなかであらゆるジャンルの国際レベルのパフォーマンス 活動を披露する世界的イベントである大道芸ワールドカップ は、イベント開催時に市内外からの来街者を見込んでいる。 令和７年度は１０月３１日、１１月１日、２日、３日の４日間開 催し、約１１１万人が来場した。 中心市街地静岡地区がメイン会場であるものの、一部清水地 区で開催することで中心市街地両地区での周遊ができてお り、清水地区における付近の観光施設の来客数増に寄与して いる。
事業の今後につ いて	継続してイベントを実施し、①～⑧の取組との相乗効果とし て、令和８年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及 び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策
 令和２年度以降、順調に増加しているが、未だコロナ禍前の数値には戻ってきていない。
 しかし、清水港への客船寄港数が大幅に増加するなど、国外からの誘客も進んでいるこ
 とから、目標を達成する水準となることを見込んでいる。

(3)「中心市街地人口」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 72 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R2	5,808 (基準値)
R3	5,691 (計画前)
R4	5,608 (1年目)
R5	5,499 (2年目)
R6	5,407 (3年目)
R7	5,321 (最新値)
R8	5,446 (推計値)
	5,496 (目標値)

※調査方法：静岡市住民基本台帳より

※調査月：毎年9月

※調査主体：静岡市

※調査対象：中心市街地

〈分析内容〉

中心市街地人口については、5年間の計画上で増加は想定しておらず、減少幅を少なくしていくことを目標として数値を設定している。その中で、令和7年度は目標値である5,496人を下回る5,321人という結果となったためC:基準値に及ばないとした。しかし、移住就業補助金の実績が昨年度を上回っている等、関連する事業の進捗状況は順調である。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

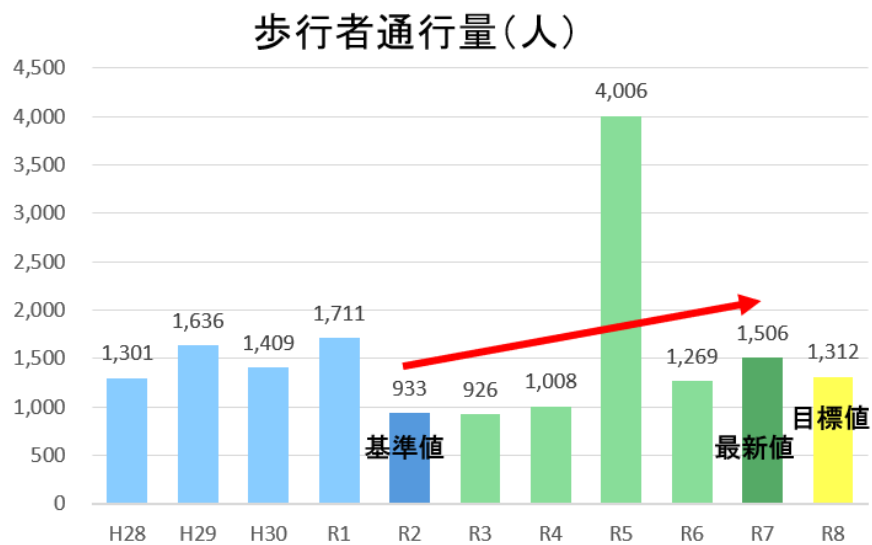
①. 移住支援センター運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成27年～【実施中】
事業概要	静岡市移住支援センター（東京・有楽町）の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度最新値：利用者 137 人 $\times 0.7 \times 0.25 = 23.9$ 人 $\div 23$ 人 本事業は首都圏から市内への移住・定住促進を目的に移住支援センターの運営を行っている。本事業では、1年に9.3人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る23人の増加となった。しかし、令和7年度の中心市街地人口は策定時の想定よりも下回り、5,321人という結果になった。

事業の今後について	令和7年度の最新値は目標を下回る結果となったが、本事業については順調な結果を残している。①②の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である 10 人/年を達成し、令和8年度の目標値である 5,496 人を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
②. 静岡市移住・就職事業（静岡市）	
事業実施期間	令和2年～【実施中】
事業概要	東京圏から静岡市に移住し、就業・起業する際の助成
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度最新値：補助金利用者 55 件 $\times 0.7 \times 0.25 = 9.6$ 人 本事業は市内への移住・定住促進を目的に市内への移住者が就業・企業をする際の助成を行っている。本事業では、1 年に 0.9 人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る 9.6 人の増加となった。しかし、令和7年度の中心市街地人口は策定時の想定よりも下回り、5,321 人という結果になった。
事業の今後について	令和7年度の最新値は目標を下回る結果となったが、本事業については順調な結果を残している。①②の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である 10 人/年を達成し、令和8年度の目標値である 5,496 人を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
●目標達成の見通し及び今後の対策 本指標は5年間の計画で増加は想定しておらず、減少幅を少なくしていくことを目的としている。令和7年度の最新値は策定時の想定を下回る 5,321 人という結果となった。しかし、目標達成に寄与する事業として挙げている、移住支援センター運営事業・静岡市移住・就職事業はどちらも目標を上回る順調な結果を残している。本市への移住者や移住希望者は増加していると考えられるので、今後、移住促進事業に合わせて中心市街地の居住機能を高める施策等を検討し、中心市街地人口の増加を図っていく。	

(4)「歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 73～P. 74 参照

●調査結果と分析



※調査方法： 中心市街地内の 16 地点で、人が目視にて確認

※調査月： 毎年 11 月最終日曜日の 10 時～17 時

※調査主体： 静岡市中心市街地活性化協議会

※調査対象： 小学生以上の歩行者

年	(人)
R2	933 (基準値)
R3	926 (計画前)
R4	1,008 (1 年目)
R5	4,006 (2 年目)
R6	1,269 (3 年目)
R7	1,506 (最新値)
R8	1,312 (目標値)

〈調査地点〉



〈分析内容〉

令和7年度の最新値は1,506人/日となり、目標達成となった。令和5年度は調査日が「富士山コスプレ世界大会」と同日になり、清水駅西口、清水駅東口、清水駅前銀座商店街の2地点など、会場付近の地点の歩行者数が大幅に増加したが、それを除く経年で見ても年々通行量は増加していることがわかる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗対策事業（静岡市中心市街地活性化協議会、静岡市）

事業実施期間	令和4年度～令和5年度【済】
事業概要	商店街等の空き店舗を活用したチャレンジショップの検討・実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和4年4月～令和6年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	チャレンジショップ出店支援事業等を含む空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年2件の新規事業者による出店を目指している。 令和5年度に本事業で実施した中活区域内への出店支援件数は1件だった。小売業出店している。
事業の今後について	令和5年度で事業終了。

②. チャレンジショップ出店支援事業（静岡市）

事業実施期間	令和4年度～令和6年度【済】
事業概要	大型商業施設等でのチャレンジショップの実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和4年4月～令和7年3月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	チャレンジショップ出店支援事業等を含む空き店舗対策事業を実施することによって、主要な通りで毎年2件の新規事業者による出店を目指している。 令和6年度に本事業で実施した中活区域内への出店支援件数は4件だった。小売業や飲食業が出店している。
事業の今後について	令和6年度で事業終了。

③. 清水ウォーターフロント回遊性向上事業（静岡市）

事業実施期間	平成27年～令和5年度【済】
事業概要	清水都心ウォーターフロントにおける人・自転車の動線検討、既存バス路線網検討、LRT導入検討

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業は、平成 27 年度からこれまでに LRT の導入検討や、交通環境の改善調査等を行ってきた。
事業の今後について	令和 5 年度で事業終了。

④. 清水港客船誘致事業（清水港客船誘致委員会）

事業実施期間	平成 2 年～【実施中】
事業概要	清水港への客船・帆船の誘致活動、寄港時の歓迎事業、調査研究事業、広報活動等
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度は 95 隻の外国客船が寄港した。一部客船に対してはシャトルバスの運営も行い、周辺の周遊促進に寄与した。③～⑨の事業と連携した総体効果として、令和 7 年度の最新値は 640 万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和 8 年度は年間 100 隻を超える客船が寄港するため、昨年よりもより一層観光客数の増加に寄与すると考えられる。③～⑨の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和 8 年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑤. 静岡市清水文化会館マリナート運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成 24 年～【実施中】
事業概要	静岡市清水文化会館マリナートの運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	展示会やコンサートへ等を目的として来場していただき、清水地区を代表する文化施設として定着してきている。今後も多くの観光客に来場していただき、清水地区の来街者・観光客数の増加を見込む。 令和 7 年度は年間約 54 万人の来館があった。 ③～⑨の事業と連携した総体効果として、令和 7 年度の最新値は 640 万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和 8 年度は年間約 100 隻の客船が寄港するため、清水区へ

いて	の来街者が増加すると考えられる。③～⑨の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
⑥. 清水魚市場「河岸の市」運営事業（清水魚株式会社）	
事業実施期間	平成 13 年度～【実施中】
事業概要	第 1 期計画で整備完了した「まぐろ館」を含む清水魚市場「河岸の市」の運営を行い、地域の観光機能を活かした活性化を牽引していく。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	近年は休日を中心に多くの来場があり清水地区を代表する観光施設として定着してきている。今後も多くの観光客に来場していただき清水地区の来街者・観光客数の増加を見込む。令和7年度は年間約 85 万人の来館があった。 ③～⑨の事業と連携した総体効果として、令和7年度の最新値は 640 万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和8年度は年間約 100 隻の客船が寄港するため、近年観光地として定着が見られる当施設は来館者のさらなる増加が見込まれる。③～⑨の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
⑦. 次郎長生家運営事業（静岡市）	
事業実施期間	平成 25 年～【実施中】
事業概要	清水次郎長（1820～1893 年）が産湯で使った井戸等が当時のまま保存され、写真や資料なども展示されている生家の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	清水区の地域資源である清水次郎長を活かした次郎長生家は清水地区を代表する観光施設として認識されており、現在も継続して運営されている。令和7年度は年間約 1.2 万人の来館があった。 ③～⑨の事業と連携した総体効果として、令和7年度の最新値は 640 万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和8年度は年間約 100 隻近くの客船が寄港するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。清水次郎長は国内外を問わず来街者の興味を惹くコンテンツであるため、より一

	層の来街者が期待される。③～⑨の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和８年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
⑧. 富士山コスプレ世界大会開催事業（富士山コスプレ世界大会実行委員会）	
事業実施期間	平成 25 年～【実施中】
事業概要	富士山コスプレ世界大会の開催（商店街を舞台としたコスプレイヤーの写真撮影会、コスプレ体験、コスプレランウェイ、痛車展示等）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和４年４月～令和９年３月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業は、コスプレというコンテンツの活用により来街者の増加を見込んでいる。令和７年は１１月１５日、１６日に開催し、約３万２千人が来場した。③～⑨の事業と連携した総体効果として、令和７年度の最新値は 640 万人/年という結果となった。開催場所である清水駅前銀座商店街は、コスプレの聖地と認識されており、開催期間外でもコスプレをした来街者が増えていることや商店街店舗への売上にも貢献している。
事業の今後について	令和８年度は年間約 100 隻の客船が寄港するため、国外から清水区への来街者が増加する。コスプレというコンテンツは国内外のどちらにも支持されるものであるため、さらなる観光客の増加が見込まれると考える。②～⑨の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和８年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
⑨. 清水みなと祭り開催事業（清水みなと祭り実行委員会）	
事業実施期間	昭和 22 年～【実施中】
事業概要	清水みなと祭りの開催（港かっぽれ総おどり、海上花火大会等）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和４年４月～令和９年３月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	清水区を代表する祭りとして古くから親しまれている清水みなと祭りは、イベント開催時に市内外からの来街者を見込んでいる。 令和７年度は８月１日、２日、３日に開催し、45 万人の来場があった。③～⑨の事業と連携した総体効果として、令和７年

	度の最新値は 640 万人/年という結果となった。中心市街地内各地で行事が行われるため、来場者が中心市街地区域内を回遊することができる。
事業の今後について	令和 8 年度は年間約 100 隻の客船が寄港するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。③～⑨の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和 8 年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑩. 大道芸ワールドカップ in 静岡開催事業（大道芸ワールドカップ実行委員会）

事業実施期間	平成 4 年～【実施中】
事業概要	大道芸ワールドカップ in 静岡の開催（清水港ウォーターフロント等まちなかでの大道芸披露等）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月）
事業目標値・最新値及び進捗状況	まちなかであらゆるジャンルの国際レベルのパフォーマンス活動を披露する世界的イベントである大道芸ワールドカップは、イベント開催時に市内外からの来街者を見込んでいる。令和 7 年度は 10 月 31 日、11 月 1 日、2 日、3 日の 4 日間開催し、約 111 万人が来場した。中心市街地静岡地区がメイン会場であるものの、一部清水地区で開催することで中心市街地両地区での周遊ができている。
事業の今後について	継続してイベントを実施し、③～⑨の取組との相乗効果として、令和 8 年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑪. 移住支援センター運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年～【実施中】
事業概要	静岡市移住支援センター（東京・有楽町）の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度最新値：利用者 137 人 $\times 0.7 \times 0.25 = 23.9$ 人 $\div 23$ 人 本事業は首都圏から市内への移住・定住促進を目的に移住支援センターの運営を行っている。本事業では、1 年に 9.3 人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る 23 人の増加となった。しかし、令和 7 年度の中心市街地人口は策定時の想定よりも下回り、5,321 人という結果になった。

事業の今後について	令和7年度の最新値は目標を下回る結果となったが、本事業については順調な結果を残している。⑨⑩の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である10人/年を達成し、令和8年度の目標値である5,496人を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。
-----------	---

⑫. 静岡市移住・就職事業（静岡市）

事業実施期間	令和2年～【実施中】
事業概要	東京圏から静岡市に移住し、就業・起業する際の助成
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度最新値：補助金利用者55件 $\times 0.7 \times 0.25 = 9.6$ 人 本事業は市内への移住・定住促進を目的に市内への移住者が就業・企業をする際の助成を行っている。本事業では、1年に0.9人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る9.6人の増加となった。しかし、令和7年度の中心市街地人口は策定時の想定よりも下回り、5,321人という結果になった。
事業の今後について	令和7年度の目標値は未達成という結果となったが、本事業については順調な結果を残している。⑨⑩の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である10人/年を達成し、令和8年度の目標値である5,496人を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和7年度は1,506人となった。目標達成となったが、今後も空き店舗対策事業等による新規出店やイベントの実施により増加が見込む。